

三瓶山の火山活動解説資料（平成 24 年 12 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター
大阪管区气象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2～6）

気象庁では 2012 年 12 月 10 日から 14 日に、三瓶山周辺で現地調査（目視観測、地表面温度分布¹⁾ 観測）を実施しました。山頂部の室ノ内^{むろのうち}火口には鳥地獄と呼ばれる噴気孔がありますが、子三瓶山中腹からの観測では噴気や地熱域は確認できませんでした。その他、山頂火口周辺及び山腹に噴気及び地熱域は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 1、図 7※）

気象庁では、三瓶山近傍の地震活動に関する基礎的な資料を得るため、2012 年 12 月 12 日に三瓶自然館サヒメルの協力を得て同施設内に地震計を臨時に設置しました。観測開始以降、三瓶山近傍を震源とする火山性地震は観測されず、地震活動は静穏に経過しました。また、火山性微動も観測されませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度を測定する機器で、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 1 月分）は平成 25 年 2 月 7 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

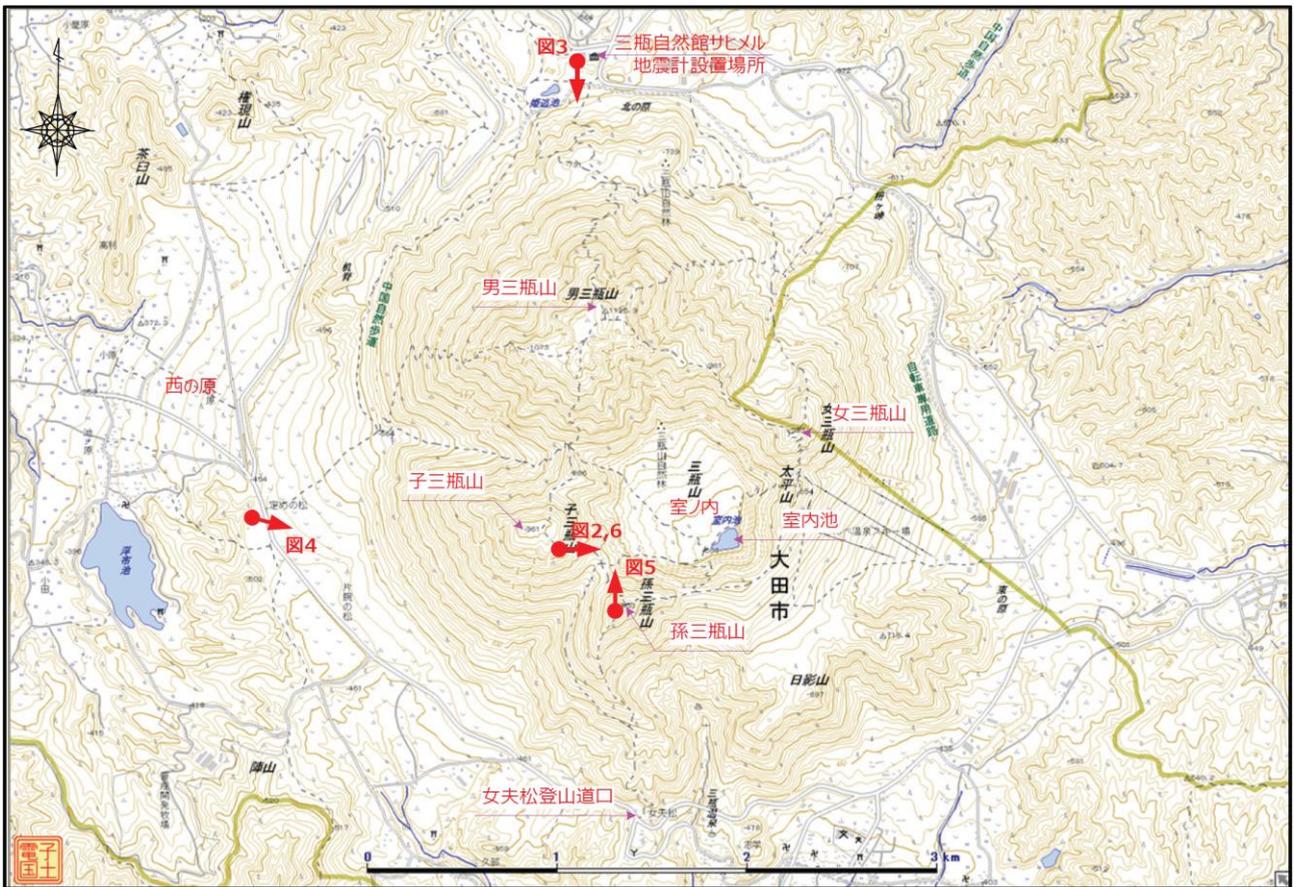


図 1 三瓶山 付近地図 赤矢印は各図撮影場所・方向



図 2 三瓶山 全面結氷している室内池、隣接して樹木が少なく草原となっているところが鳥地獄。鳥地獄には少量の二酸化炭素を噴出する噴気孔がある。
(12月13日13時04分 子三瓶山中腹より)

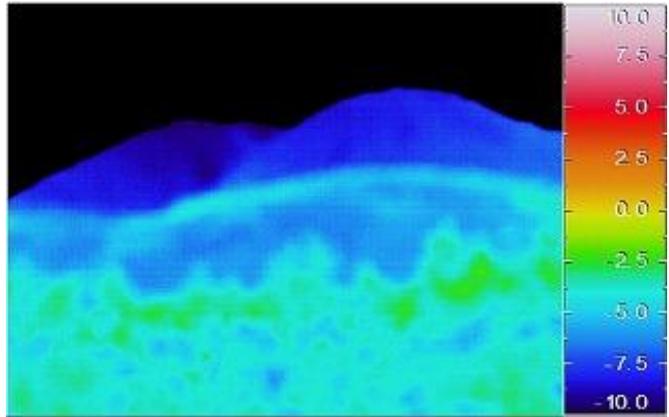


図 3 三瓶山 男三瓶山北側斜面地表面温度分布 (12月12日12時00分 三瓶自然館サヒメルより)

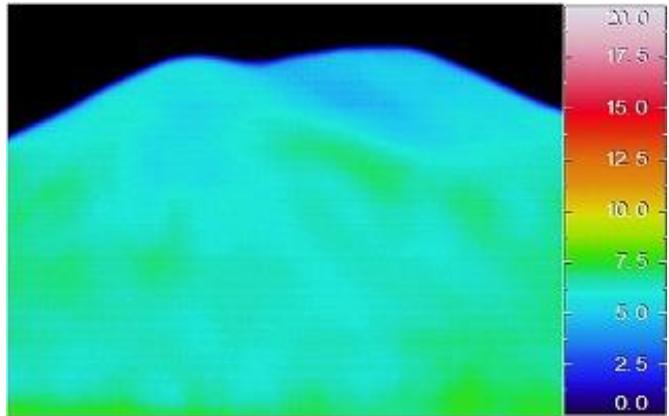


図 4 三瓶山 子三瓶山西斜面地表面温度分布 (12月13日16時00分 西の原より)

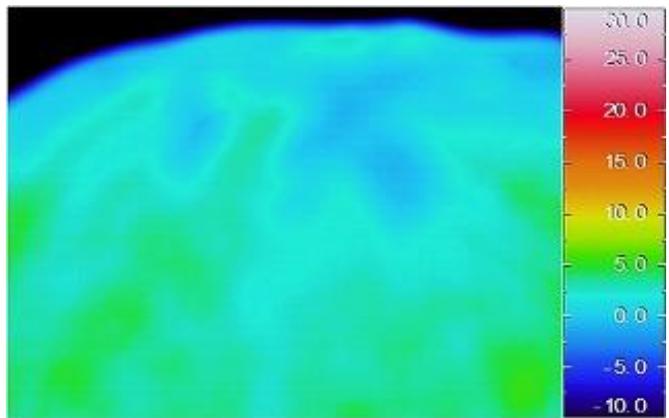


図 5 三瓶山 子三瓶山南斜面地表面温度分布 (12月13日11時40分 孫三瓶山より)

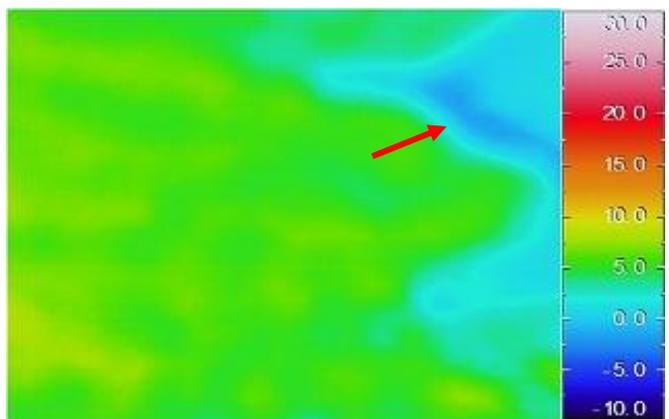


図 6 三瓶山 室ノ内地表面温度分布 (赤矢印部分は室内池)
(12月13日13時10分 子三瓶山中腹より)

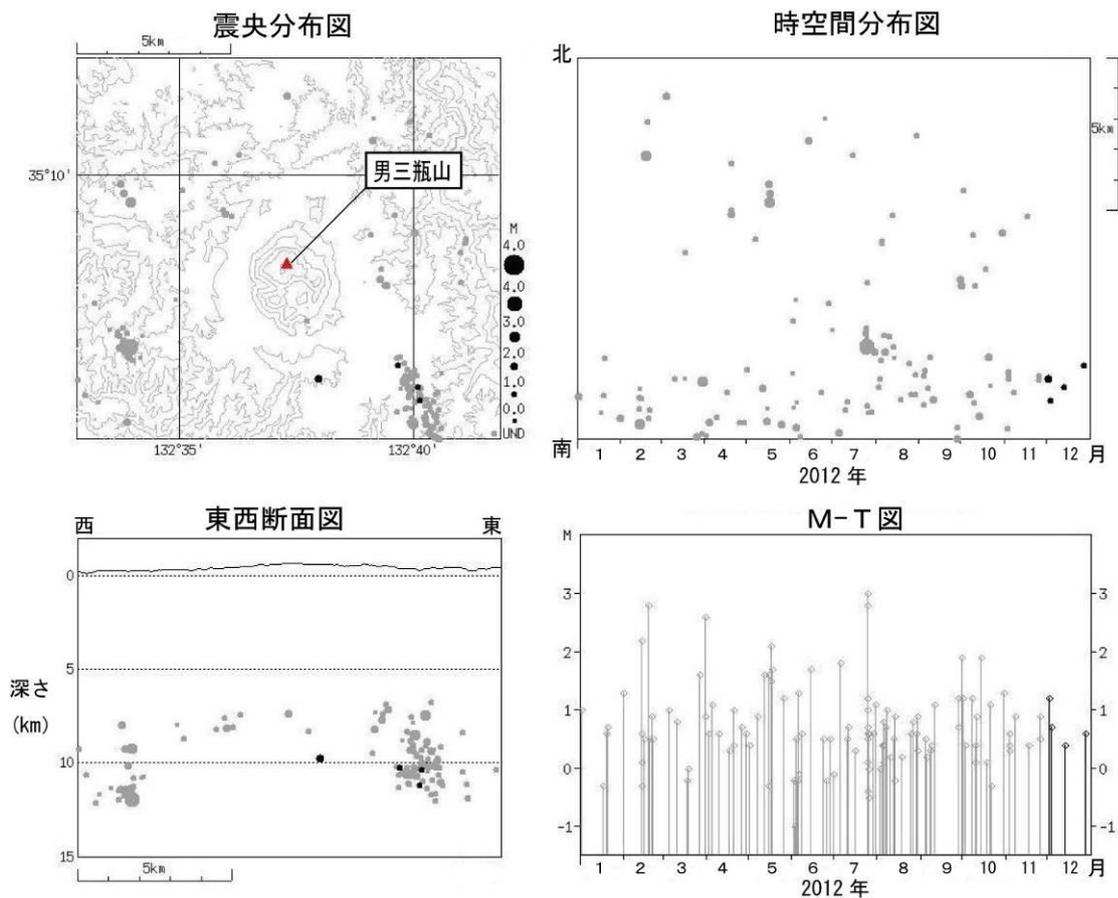


図 7※ 三瓶山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2012年1月1日~12月31日)
 ● : 2012年1月1日~11月30日 ● : 2012年12月1日~12月31日
 M (マグニチュード) は地震の規模を表します。
 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
 三瓶山付近の地震の発生は少なく、地震活動は静穏に経過しました。